

市民ワークショップ実施報告（速報）

1. 実施の意義・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P01
2. 実施概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P02
3. ワークショップの内容と結果・・・・・・・・・・ P03

令和5年9月26日（火）
第3回 策定委員会

1. 実施の意義

(1) 実施目的

- 市民にとって中心市街地がどのような場所なのか、利用の実態を明らかにするとともに、今後のあってほしい将来像やそれに対する自分自身の関わり方に対する考えを把握すること。
- これを通し、中心市街地に関する課題やニーズを明らかにし、計画における現況・課題の把握に関する材料とすることと合わせて、中心市街地の活性化を自分事として考えてもらうきっかけとすると共に、今後中心市街地の活性化に主体的に関わっていただける人材を掘り起こすこと。

(2) 結果の活用先

- 中心市街地の利用実態や課題認識、生活者及び観光客目線のニーズ把握、中心市街地を活性化させるための事業アイデアについて、計画に反映する。

2. 実施概要

■ 下表のとおり、実施概要を示す。

	実施日時	テーマ	参加者
第1回	9月23日（土） 14:30～16:00	皆さんにとっての中心市街地とは どんなところですか	市民19人
第2回	9月30日（土） 14:30～16:00	あってほしい中心市街地像と それに向けてできること	市民22人（予定）

(2)グループ構成

・ 4グループ（5人グループ：3、4人グループ：1）とした。

3. ワークショップの内容と結果

第1回目（9/23実施済み） 結果（速報）

セッション1：どんなときに中心市街地を利用しますか（30分）

■中心市街地の利用のされ方

飲食利用

- ・ 食事（ランチ）
- ・ カフェでお茶
- ・ 飲酒

通院利用

- ・ 歯医者
- ・ 病院/接骨院

買物利用

- ・ 服の購入
- ・ 食料品の購入（肉、魚、野菜）
- ・ お土産の購入

娯楽利用

- ・ お参り
- ・ 展示イベントへの参加
- ・ 銭湯
- ・ 散策・まち案内
- ・ 図書館
- ・ コミュニティ活動

通勤利用

■よく使われている場所

一般名称

- ・ 郵便局 公共公益施設
- ・ 銀行
- ・ 病院/接骨院
- ・ コンビニエンスストア 買物・飲食
- ・ 和菓子屋
- ・ 飲食店
- ・ カフェ
- ・ 肉屋
- ・ 塾 教育
- ・ 神社、寺 娯楽
- ・ 銭湯

個別の施設名

- ・ ハイトピア伊賀
- ・ 天神商店街
- ・ 新天地商店街
- ・ 赤井家住宅
- ・ 伊賀鉄道
- ・ 上野図書館
- ・ 歯科なかがわ
- ・ 一乃湯
- ・ 西町やかかん

■利用しない理由

- ・ イオンをよく使用する
- ・ 観光する場所がない（イベントが少ない）
- ・ 駐車場が少ない
- ・ 公共交通機関が充実していない
- ・ 自宅からの距離が離れている
- ・ お土産屋が少ない

3. ワークショップの内容と結果

第1回目（9/23実施済み） 結果（速報）

セッション2：中心市街地の活性化に関心はありますか（20分）

■中心市街地の活性化のイメージ

人

- ・人がたくさん行き交う
- ・住む人が増えている
- ・地元の方で賑わっている
- ・観光客が多く来訪する
- ・若者で賑わっている
- ・子どもたちの笑い声が聞こえる
- ・熱い人が多い
- ・地元

商売

- ・商売繁盛
- ・空き店舗（シャッター）がない町並み
- ・まちなかで買い物が完結する

まちづくり

- ・伊賀らしさを残している
- ・取り組みが各地で進んでいる

交通

- ・自転車で移動できる町

■自分にとっての中心市街地活性化

交通が便利になること

- ・公共交通網が整っていること（中心市街地への交通網・まちなかでの交通網）
- ・公共交通の利用の利便性向上
- ・駐車場の確保・利便性向上

観光資源が守られ、活用されること

- ・観光資源、古い資源を活用する
- ・お祭りをPRする
- ・お祭りを持続させる

施設が充実すること・便利になること

- ・新規出店が増える
- ・週末や夜も店が営業している
- ・一日過ごすことができる施設

住みたい、住み続ける環境になること

- ・若者が住みたい環境をつくる
- ・コミュニティが町内に多くある
- ・子どもたちが出ていかず、地元に戻ってくる
- ・空き家が減る

3. ワークショップの内容と結果

第2回目（9/30実施予定）

テーマ：あってほしい中心市街地像とそれに向けてできること

セッション1：伊賀市中心市街地のもっとこうだったらいいなと思うところ（30分）

ねらい：

- 1回目の中心市街地の日常の利用の実態を踏まえ、中心市街地がもっと〇〇だったらいいのに、というような足りないところに想像を巡らせてもらい、できるだけ具体的に発言していただき、ニーズの把握や資源の掘り起こしにつなげる。

セッション2：理想の中心市街地像とそのために自分ができること（20分）

ねらい：

- セッション1での意見交換を踏まえ、理想の中心市街地像について意見交換したうえで、そのために自分ができることがあるか考えてもらう。
- これを通して、中心市街地の活性化に日頃から関心を持ってもらい、ひいては中心市街地の活性化につながるきっかけとする。